

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1150	(H.24)No.	1150
-----------	------	-----------	------

事務事業名 名張市教育研究所研究事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	学校教育室	和南 義一	63-7882
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	466501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	名張市教育研究所研究事業
項	教育総務費	(小事業名)
目	教育振興費	名張市教育研究所研究事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>学力低下・体力低下や不登校・いじめ等の名張市における教育課題の解決に向けて、保・幼・小・中の育ちの連続を支援するため、研修講座を開設したり、プロジェクト研究員による研究を行ったりすることで、教職員の資質向上を図る。また、児童生徒支援事業として、名張市の児童生徒の文化的行事(音楽会、美術展)を行う。さらに、子育てに悩む保護者の相談や、講演会を行い、安心して子育てができるよう、支援していく。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>教職員の研究・研修がより充実したものとなるよう、研修講座の充実を図るなどの支援をしていくことで、名張市の教育課題が少しでも解決できるようにしていく。保護者を対象にした講演会を実施したり、相談業務の実施によって、保護者が安心して子育てができるようにしていく。また、研修講座の内容によっては、保育所(園)にも発信するなど、保・幼・小・中の連携により、子どもの連続した育ちを支援できる。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)				
					平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・教職員対象講演会(人権・同和教育、生徒指導) ・教職員対象の研修講座62講座 ・保護者対象の講演会、研修講座10講座 ・講演会及び講座受講者数(教職員):延べ1,975人(保護者):延べ334人 ・研修講座、教育研究集会、プロジェクト研究、グループ研究、学校・園研究等に係る講師報償費:1926千円 ・スクールソーシャルワーカー及び保安業務委託料:1152千円 ・児童生徒支援事業の実施(なばりんピック2011、小中学校音楽会、学校・園美術展覧会、もみじのつどい、市内中学校特別支援学級交流会実施 ・教育相談(電話、面接)延152件		[事業内容(事業量)・事業費] ・教職員対象の講演会 ・教職員対象の研修講座65講座 ・保護者対象の講演会、研修講座計10講座 (研修講座、プロジェクト研究、グループ研究、学校・園研究等の講師報償費:2218千円) ・スクールソーシャルワーカー委託料:1152千円 ・児童生徒支援事業の実施(小中学校音楽会、学校・園美術展覧会、もみじのつどい、市内中学校特別支援学級交流会実施 ・学校教育現場への支援 ・教職員のメンタルヘルスへの支援 ・名張市PTA連合会との関係の強化		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
直接事業費	4,788千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
財源内訳(千円)									
国庫支出金									
県支出金									
地方債									
その他()									
一般財源	(0)	4,788	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
職員	0.85人	0.81人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
臨時職員等	1.63人	1.28人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	
概算人件費	(0千円)	8,976千円	8,089千円	9,850千円	9,850千円	9,850千円	9,850千円	9,850千円	
+ 総事業費	(0千円)	13,764千円	13,089千円	14,850千円	14,850千円	14,850千円	14,850千円	14,850千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	1,539	1,339	2,096	2,100	2,200
	実績						
成果指標	目標	%	70	90	99	99	99
	実績						
成果指標	目標	%	-	-	-	-	62.0
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
<p>教職員の力量を高めるため、教科・領域における様々な研修講座を実施し、アンケート結果から、いずれの講座についても好評を得ている。また、子育て支援の充実を図るため、子育て支援講演会に加え、平成22年度より実施している家庭教育講座についても、参加者から高い評価を得ている。</p>	<p>・教職員に対して、教職員のチーム力の向上を目標に「市内教職員の実践を活用した講座の開設」を考えている。 ・保護者に対しては、今後も子育てへの更なる支援の充実を図っていく。</p>

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<p>名張市の子どもたちの育ちの連続、保・幼・小・中の連携という意味からも、今後も教職員の資質の向上を図るため、研修講座講座には、市内の保育士、幼・小・中学校の教職員を対象に行っていく。また、子育てへの支援ということで、保護者への支援も継続して行っていく。</p>	<p>特に、子育てや家庭教育に関する講座については、関心が高まってきており、今後も継続して行ってほしいという声が多い。</p>

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)は の場合
<p>(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p>できる</p>	<p>名張市教育研究所事業の発信ということで、HPを随時更新したり、特に教職員対象の講座については、計画段階で、随時情報の発信につとめる。</p>
<p>(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p>できない</p>	
<p>(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p>できない</p>	
<p>(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない</p> <p>ない</p>	
<p>(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)</p> <p>反映予定なし(該当しない)</p>	
<p>(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない</p> <p>できない</p>	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(事務改善)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項